

Kawasaki 蘇生救急連携セミナー

Resuscitation & Emergency Regional Seminar

平成27年4月21日(火)
19:00～20:30

謹啓

時下、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、この度、下記の通り蘇生救急に関し、海外から著明な講師をお招きして講演を開催する運びとなりました。ご講演いただくGaieski先生はアメリカの救急医療を牽引している救急医で、特に「心停止後症候群(Post Cardiac Arrest Syndrome; PCAS)」の分野で活躍し世界の蘇生科学をリードしています。ご多用中のこととは存じますが、何卒ご臨席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

川崎日航ホテル 12階「東」

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1 TEL: 044-244-5941 (代)

「経口FXa 阻害剤『エリキュース錠』のご紹介」(ファイザー株式会社)

「開会の辞」 川崎幸病院 院長 笹栗 志朗

座長: 川崎幸病院 循環器内科 顧問/
日本大学病院 循環器センター 循環器内科 教授
長尾 建

一般演題



『心臓救急最前線2015』

～ACC/AHA・ESCガイドラインと米国での経験を得て、
低体温療法・IABP・Impella・VA ECMOの今と心房細動を考える～

川崎幸病院 循環器内科
副部長 伊藤 賀敏

特別演題



『低体温療法だけではない！ 心停止後症候群の包括的至適治療法』

～The Optimal PCAS (Post Cardiac Arrest Syndrome) of Care: Beyond Hypothermia.～

川崎幸病院 教育担当顧問/
ジェファーソン大学 救急科 准教授
David F. Gaieski 先生

(日本語通訳あり)

*講演会終了後に意見交換会の場を設けております

共催 川崎幸病院/ ファイザー株式会社 / ブリストル・マイヤーズ株式会社